

2021/11/3

(オマケの英語教室 spray) 書庫版



先程、デスクワーク中にパソコンの向こう側のボードの上にスプレーがあるのが目にとまりました。

ヘアスプレーではなく殺虫スプレー。

以前、刺されたことがあるのですが、刺された頭の左側半分が痛みと痺れで2、3日ウンウン唸る羽目に陥るほど結構強烈なものでした。

その蜂は軒下（のきした）に作られた巣から飛び立ったもので、その巣の周りにはうじゃうじゃと蜂が群れ下がっておりました。

その蜂を退治するためにスプレーを買ったのですが、使い終わった後、そのスプレーを無造作に机の前のボードに置いたまま忘れていたのです。

根（こん）を詰めた仕事をしていたので、少し気分転換をしたくなり、例によって例の

「スプレーは英語で spray。

でもなんでスプレーって言うのだろう？」

を始めてしまいました。

「スプレーって日本語では噴霧器。噴射の噴（ふん）に霧（きり）に道具を表す器（うつわ）」

そして

「と、なれば英語も何かと何かの語の組み合わせかもしれないな」

と思い

「何の組み合わせだろう？」

で、思いついたのが

「spread + ray の組み合わせではなかろうか？」

でした。

つまり

Spread で拡げる。Spread out で噴出（拡がり出る。拡げ出す）するの語幹 sp に「ブルーレイ (blue ray)」や「レイガン (raygun=光線銃)」に出てくる「光線」を表す ray と組み合わせで出来た「合成語」なのではないかと。

漢字で表すと「噴出光線」ちょっと今風アレンジすると「噴出ビーム光線」ですが当然スプレーから光線が出るわけがありませんので、この場合の ray は「一条帯のもの」と言うことでしょう。

漢文のレ点を用いて逆転倒置してからスルーすると

「一条帯の物質を噴出するもの（装置）それが spray なのではなかろうか？」と。

是また当たるも云々（うんぬん）当たらぬも云々でございますが、自分としては少し楽しめましたので又仕事に戻ります。

私事に巻き込みまして大変失礼致しました。